



案内していただいた(株)日本海水・讃岐工場 東山職長にインタビュー

出身地:香川県坂出市
年齢:56歳
勤続:38年
担当業務:水事業全般、ミネラル原液製造・水製造・製品出荷等

Q1 「AW・ウォーターのここがすごい」を教えてください。
A:天然由来のミネラル成分をバランス良く含んでいるところがです。
Q2 施設内でお気に入りの場所や機械があれば教えてください。
A:クリーンルーム(充填室・転室)ミネラル原液製造室です。
Q3 一番気を使う作業工程はどのようなものですか?
A:ミネラル原液製造とボトル最終検品ですね。
Q4 なぜ坂出で操業することにしたのですか?
A:良質な蒸留水を有効に活用できないか、との発想からスタート。渇水が度々問題となる地域であり、枯渇することのない海水を原水にすることが有効と判断。大手造船会社などが集約している地域でもあり、熱中症対策としての需要も期待されたためです。
Q5 おすすめのAW・ウォーターの活用方法とは?
A:日常生活での適時水分補給。また災害に備えての備蓄水としても活用できます。
Q6 あなたにとってAW・ウォーターとは?
A:最もピュアで、すごくおいしい水です。
Q7 四国ガスグループの皆さまへメッセージをお願いします。
A:私たちが丹精込めて充填した水を、多くの方々々に飲んでいただければ大変うれしく思います。これからもよろしくお願いたします。

一人でも多くのお客さまに飲んでいただきたい

東山職長をはじめ日本海水の職員の皆さま、工場見学と記事作成にご協力いただきまして、ありがとうございました。

各製造工程を自分の目で見て、出来たての水を飲ませていただいたことで「安全でおいしい水」であることを改めて実感しました。同時に、丹精込めて作られたこのAW・ウォーターを、一人でも多くのお客さまに飲んでいただきたいという思いが強くなりました。



四国ガス産業本社 山本 純也さん



AW・ウォーターが できるまで



株式会社日本海水・讃岐工場さま 住所:坂出市大屋富町1793番地の3
ひときわ目立つ煙突が目印です。

四国ガス産業は、昭和41年にガス工事会社として設立され、以降、保険代理店業、不動産業、太陽光発電事業など業務の多角化を進めてきました。水販売事業は平成23年から本格的な取り組みをはじめ、現在の契約件数は約1,200件。生活総合産業を目指している四国ガス産業の重要な事業に成長しました。

このたび、株式会社日本海水さまのご好意により、「AW・ウォーター」を生産している讃岐工場の見学会が実施されました。四国ガス産業が自信を持ってお届けするAW・ウォーターについて改めて紹介します。



工場見学開始

AW・ウォーターの生産供給体制

現在のAW・ウォーターの製造拠点は、北海道の発寒工場、埼玉県の吉川工場、香川県の讃岐工場、そして長野県の信濃大町工場の合計4拠点。各地域の特長を生かした水の生産を行っています。RO透過水によるミネラルウォータープラントが3拠点と天然水プラントが1拠点。讃岐工場はRO透過水によるミネラルウォータープラントです。

⑤選任検査員による全数検査



出荷

人の手によって、1本1本を丁寧に全てを検査し出荷。お水の特長を一言で表すと「海水から生まれたミネラルウォーター」です。

④ボトル詰



クラス1000のクリーンルーム※のオートメーション化された製造ライン。(※約30cm中に0.5ミクロン以上の微粒子が1,000個以下であること。)

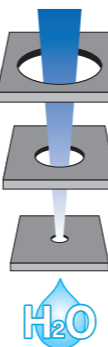


③海洋ミネラル成分を添加

安心な水
H₂O
+
海洋由来の
ミネラル成分

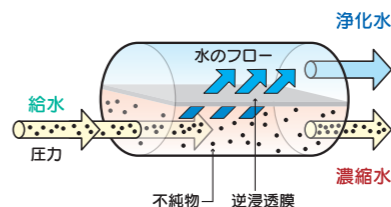
自社製のカルシウムやマグネシウムといったミネラル成分をプラス。(ミネラル成分の配合には辻料理学園の水ソムリエと言われる専門家が監修。)純度の高い自然の海洋ミネラルが豊富な「にがり」を利用しているため、おいしいだけでなく体に安全。

②RO(逆浸透)膜処理



②0.0001ミクロンの膜を通すことで環境ホルモンも含む一切の不純物を除去。

①海水から採取されたきれいな蒸留水



瀬戸内の海水★



地産地消

海水から生まれたミネラルピュアウォーター

